

# 金子健二文庫

初代学長の金子健二は、古代・中世英文学を専攻し、『英語發達史』、『英國自然美文學の研究』などの著作や『カンタベリ物語』の訳書を著す。明治13(1880)年に生まれ、東京帝国大学文科大学(現東京大学文学部)英文科卒業後アメリカ合衆国に留学。東アジア、インドにも赴き、本学の前身の日本女子高等学院英文科教授となる。高潔な人格と学識により学生の信望を集め、昭和24(1949)年初代学長に就任し、女子教育にその半生を捧げたが、昭和37(1962)年現職のまま逝去。金子を偲んで、その著作と中世英語に関する文献約700冊で構成された文庫を、昭和38(1963)年に設けた。